

平成20年2月

西之表港大型客船入港に伴う船舶航行安全対策調査専門委員会

1 委員会報告書概要

本委員会では、西之表港への大型客船入港について、港湾施設と客船の入出港操船および係留の関係を調査検討した。

検討にあたっては、入出港操船に影響する港内外の潮流および風圧力等の外力を調査し、入出港操船および9 m岸壁の防舷材吸収エネルギーと5万GT級客船の関係を検討した。係留については、取り得る係船索配置に基づいてOCIMFの計算手法により係留力を検討した。

今回入港を計画された岸壁は、対象船を受け入れる施設としては、岸壁長が短く基本的な係船索配置が取れない環境下であるが、対象とした大型客船は、優れた操船性能諸元を備えていること、頻度が少なく比較的短期の係留であること等から、対象船に要点を絞り可能な検討を行った。

2 調査等概要

- (1) 調査概要
- (2) 大型客船入港計画の概要
- (3) 航行環境
- (4) 安全性の検討
- (5) 航行安全対策